

平成 16 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 SANKYO  
代表取締役 毒島 秀行  
社 長  
(コード番号 6417 東証第 1 部)  
問合せ先 常務取締役 筒井 公久  
経営企画室長  
(TEL.03-5778-7773)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 5 月 20 日の決算発表時に公表した平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）の業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 17 年 3 月期中間業績予想の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）

##### 連結

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	58,500	15,500	9,500
今回修正予想（B）	64,100	17,700	11,400
増減額（B - A）	5,600	2,200	1,900
増減率（％）	9.6％	14.2％	20.0％
（ご参考）前期中間実績	89,193	29,748	18,153

##### 単独

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	56,500	14,500	8,500
今回修正予想（B）	62,400	17,800	11,200
増減額（B - A）	5,900	3,300	2,700
増減率（％）	10.4％	22.8％	31.8％
（ご参考）前期中間実績	82,266	26,503	16,423

## 2. 修正の理由

当中間期におきましては、7月のパチンコ機開発に関連する風適法規則等の改正などが需要動向に与える影響が懸念されていましたが、最近のファンやパチンコパーラーのニーズを製品化の過程で活かした「フィーバー天竺」「フィーバーネオクィーン」「フィーバーじゃんけんバトル」などの投入機種が好評価を得た結果、パチンコ機の販売は概ね当初計画通りに推移しました。一方で、SANKYOブランド初のパチスロ機として世に送り出した「ボンバーパワフル」が、その多彩な液晶演出と易しいゲーム性で幅広い層のファンから支持を受け、当初見込みを大幅に上回る販売を達成しました。さらに、補給機器部門でも好調であったことなどから、当中間期の連結及び単独業績予想を修正いたします。

10月には風適法規則改正以後の新基準機「フィーバー大ヤマト2」を他社に先駆けて発売するなど、下期の事業推進への順調な滑り出しを示すことができました。引き続き、通期計画の達成に向けて全力で取り組む所存です。

## 3. ご参考

平成17年3月期通期（平成16年4月1日～平成17年3月31日）の業績予想は、平成16年5月20日に公表した当初予想数値から変更はありません。

### 連結

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
当期業績予想(平成17年3月期)	159,000	48,000	29,000
前期実績(平成16年3月期)	151,726	46,546	27,294

### 単独

（金額の単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
当期業績予想(平成17年3月期)	155,000	45,000	27,000
前期実績(平成16年3月期)	140,825	41,528	24,645

（注）上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上